



😊 地域の日本語教室のサポートで

日本語を学び…外国人生徒等選抜入試で

高校進学！

- 小6 日本語ゼロでフィリピンから来日
- 地域多文化ネット「W K Y」で日本語支援や進路情報などを得る
- 大府市内の公立小・中学校を卒業
- 愛知県立 東浦高校1年在学中



●小学校～中学校

小6のとき、小2の妹と来日しました。日本で働いている両親と一緒に暮らせるようになったのはうれしかったけど、生活や人との関わり方の違いなどについては、ちょっと怖い気持ちもありました。

来日してすぐ小学校に入り、はじめはクラスの子たちは別の教室で日本語を勉強しました。その後、自分のクラスで受ける授業が増えていき、中学校3年生の頃には全教科をみんなと同じ教室で受けていました。よく分からないこともあったけど、「何とかなりそうだなあ」と思えるようになりました。

●来日3年目で東浦高校 普通科に進学・入学試験

「外国人生徒及び中国帰国生徒等にかかる入学者選抜」※(p.16)という試験を受けました。試験科目は国語、数学、英語。問題にはルビがふってあるし、入学後も日本語などのサポートがあると

●高校入学後

1年生の間だけ国語、数学、理科、社会の取り出し授業があって、クラスと同じ内容を先生がわかりやすい日本語で説明してくれます。母国語は使わないルールですが、先生が面白くて授業が楽しいです。

今は、まだ取り出し授業が多いのでクラスには話したことがない子もいますが、部活では仲のいい友達ができました。

●将来の目標

中学の職場体験で、保育園に行ったのが楽しくて保育士になりたいと思うようになりました。そのため、高校卒業後は短大に進学したいです。

●日本語の学習

来日したときは、日本語が全く分からなかったの

で、学校の保護者面談のとき通訳さんに教えてもらった地域の日本語教室に、週2回通いはじめました。日本語や、学校の授業で分からなかったところを教えてもらっていました。

高校生になった今も通い続けていて、日本語のレベルアップを目指しています。この教室があって本当に良かった！みなさんも、地域の日本語教室が近くにないか、ぜひ聞いてみるといいと思います。それから、日本語に慣れるためには、ちょっとでも友達と話そうにするといいと思います。

そうごうがっか しょうらい きぼう ぎやくさん
総合学科、将来の希望から逆算して
いま学ぶべきことを選択する

- 母親のルーツはブラジル
- 日本生まれ
- みよし市、豊田市内の公立小・中学校を卒業
- 愛知県立 豊田東高校 総合学科2年在学中



しょうがっこう ちゅうがっこう
● 小学校～中学校

がっこうせいがくつ たの ともだち
学校生活で楽しかったことは友達ができたと。
いや 嫌だったのは保育園の時に先生に通訳を頼まれたり、日本語のほう得意なのに外国人扱いされたりしたこと。小さいころから家ではポルトガル語、園や学校では日本語。日本語が日本人の子よりできないと思ったことはありません。中学校では平均的な成績を維持し、得意な数学は特に頑張りました。

とよたひがしこうこう そうごうがっか えら りゆう
● 豊田東高校 総合学科(p.15)を選んだ理由

きっかけは、中3の夏休みに母と一緒に行った体験入学。高1の「産業社会と人間」という授業が特徴的で気に入りました。いろいろな分野の専門家が実際の仕事の話をしてくれるんです。それから、授業で発表が多いこと。社会に出たら、プレゼンのスキルが必要になると思ったんです。校舎も

あたらし 新しくきれいだし、職員室の前に机が並んでいて勉強でき、先生をつかまえて質問できるのもとてもいいです。「大学までは義務教育」と親に言われて育ち、私自身も工場で働くのは嫌だと思っていたので、オフィスで働くために必要なことをこの学校で学べると思いました。

そうごうがっか
● 総合学科IIのコース

こう2からは、なりた職業によってコースに分かれて勉強します。大学進学希望の人には「理プラン」と「文プラン」の2つのコース、就職または専門学校進学希望の人には「看護」、「外国語」、「調理・栄養」、「服飾」、「保育」、「福祉・健康」、「ビジネス」、「美術」、「音楽」の9つのコースがあり、授業の内容が違います。コース選択については先生ともよく相談して決めました。私は情報系の大学に進

みたいので、「理プラン」で進学のための勉強をしています。

こうこう べんきょう そつぎょうご
● 高校での勉強と卒業後のこと

かだい おお べんきょう きび ぶん ちから
課題が多く、勉強は厳しいですが、その分、力になっていると感じます。中学校とは違い自己責任が大きく大変ですが、友達と一緒になので、学校生活は楽しいです。将来のことについて母とよく話をします。大卒は給料は高いが学費も高いことなど……。だから、地方でもこの公立大学(p.45-47,49)を目指しています。大学の寮に入れれば、親の負担を軽減できると思うからです。

こうこう えら
● これから高校を選ぶあなたへ

しょうらい きぼう ぎやくさん まな
将来の希望から逆算して、いま学ぶべきことを自分で考えられる人には、総合学科を勧めます!



ブラジル人学校から昼間定時制高校へ 目標を決めて進路変更

- ブラジル サンパウロ市生まれ
- ブラジルで中学校卒業
- 15歳のとき来日し、ブラジル人学校高等部編入
- 愛知県立刈谷東高校 昼間定時制3年在学中
- 地域の日本語教室で日本語支援や進路情報などを得る



●アルバイトをしながら日本語と学費の準備

日本のことをほとんど知らずに来日しました。一年中寒い国だと思ってたくらいです。はじめはブラジル人学校に通いましたが、しばらく日本に住みたいと思って日本の高校を目指すことにしました。日本語を勉強しながらファストフード店でアルバイトを始めたのですが、人と関わりたくても言葉が分からないのでフラストレーションが溜まって苦しかったです。それで日本語の勉強も毎日がんばりました。日本はバイト代で洋服を買ったり、行きたいところへも行けて、ブラジルより豊かな暮らしができる国なんだと実感。バイト代を貯めて、高校の入学に必要な費用も自分で準備しました。

地域の日本語教室には色々な国から来た仲間が15人くらいいて、高校目指して一緒に勉強し、

充実した一年でした。入試のあと結果が出るまで吐きそうなぐらい不安だったことも思い出です。

●高校での勉強

刈谷東高校の昼間定時制課程(p.21-22)は1日4時間授業、4年間で、1年生は9:00~13:00と10:50~15:20のどちらかを選ぶことができます。ただ、3年で卒業したい人は2年生から6時間授業を受けられます。この高校には夜間定時制課程と通信制課程もあり、夜間は工業科です。私の学年には外国人が10人くらいいて、週1回、放課後、母語が分かる先生が日本語を教えてください。授業のとき分からないことを隣で教えてくれる母語サポートもあります。私の場合1年生の後半には授業が大体わかるようになり、2年生ではサポート

がいらなくなりました。化学や古典は少し難しいけれど、「単語を覚えるしかないんだ」と分かってからは、とにかく覚えて点数がとれるようになりました。頑張るしかないです。私はほかの生徒より年齢が高いのもあって、3年卒業を目指しています。

●目標は管理栄養士

進路を考える時間に高校の先生が職業についての資料を見せてくださって、スポーツ選手のパフォーマンスを上げるために食事を管理する「管理栄養士」という仕事があるのを知りました。ぜひやってみたい!と思い、資格がとれる大学を探しました。高校で部活を頑張ったことも評価されて、指定校推薦(p.44)をもらうことができたんです。大学に進学して、管理栄養士を目指します!

